

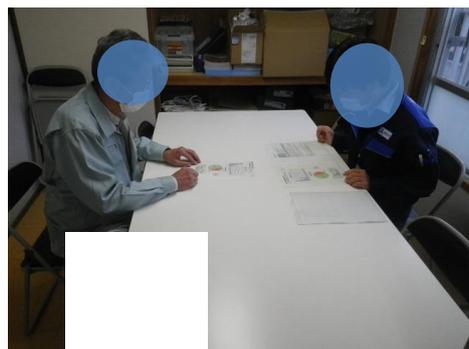
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年9月11日(金曜日)15時30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	第三者人身	性別	男性	年齢	-	業種区分	建築
被災程度	第三者へのけが			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	-
工事概要	建物の新築工事						
事故概要	新築工事に伴う、外構工事により、敷地外に一時的に工事車両を駐車しており、目の不自由な歩行者が工事車両に接触・転倒し、足を負傷させた。						
事故原因	歩道に工事車両を駐車していたため。 第三者への侵入防止策及び交通誘導員の適切な配置をしていなかったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・工事用車両は原則、現場内の指定された場所に駐車すると共に、道路等に停車する場合は、必要な手続きを行い、歩行者等への安全対策を十分に行った上で、停車する。 ・日々のKY活動を当日作業する作業従事者を集めて行い、自社以外の業者が実施する作業内容や危険作業を把握できるように周知方法の改善に努める。 						

事故状況図



改善状況図



<再発防止に向けた協議状況写真>

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 9月 11日(金曜日) 13時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	給食室排水管の詰まり			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	学校校舎の増築工事						
事故概要	工事用の大型車両が場内の給食室排水管(φ150污水配管)の小口径樹蓋上を通過した際に、これを破損させて配管中に土が入り当該管を詰まらせたもの。						
事故原因	当該小口径樹については上部に板を渡して碎石(厚さ30cm)で埋め戻すなどにより養生していたが、事故当日は前日の降雨により周辺地盤が軟弱化したこともあり、大型車が通った際に予想以上の荷重が蓋上にかかってしまった。 また、当該樹蓋はプラスチック製で、上側に飛び出す形状で取手が取り付けられており、上部からの荷重に対して蓋が割れやすい状態にあったと考えられる。						
改善策	引き続き、污水樹等の構造物上を大型機械が通行せざるを得ない状況となるため、鉄板敷き込みにより養生を行うことで、過大な荷重がかからないよう対処した。						

事故状況図



碎石(厚さ30cm)で仮設通路を作成していた



破損させた小口径樹蓋

改善状況図



樹蓋の取手切断状況

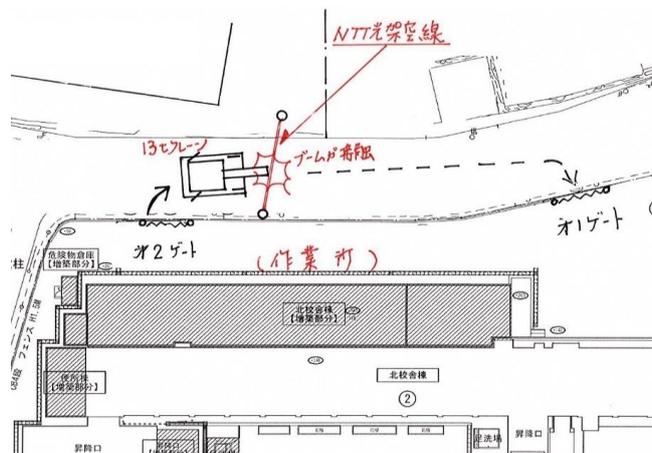


鉄板敷き込み後

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 9月 14日(月曜日) 12時 30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	NTT光ケーブルの切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	学校校舎の増築工事						
事故概要	材料の積み下ろしに使用するための13tラフタークレーン車を移動させるため公道上を走行させていたところ、ブームが沿道マンションへのNTT光引き込み線に接触し、これを切断したもの。						
事故原因	<p>事故当時、クレーン車を場内で移動させる必要があったが、敷地内の移動が不可能であったため、西側ゲートを右折して出るときに、ゲート右側にあった万能鋼板にブーム先端部が接触しないよう、ブームを上げてゲートを通したが、そのまま下ろさずに公道上を走行したために架空線に接触した。</p> <p>事故当時、ゲートには交通誘導員を配置していたが、被災したNTT線が細く、コイル状の誘導線内にも格納されずに垂れ下がるようにあったため、交通誘導員からも運転手からも視認しにくい状態であった。</p>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・道路架空線の状況について、事前にクレーン車のオペレーターに把握させることを徹底した。 ・クレーン車等の大型車両の移動の際は、誘導員を2名配置することを徹底した。(1名は車両誘導、1名は架空線確認) 						

事故状況図



改善状況図



クレーン車オペレーターへの説明状況



誘導員2名配置状況

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和2年 9月24日(木曜日) 10時10分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別	男性	年齢	42	業種区分	設備
被災程度	右足関節外果骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	60日
工事概要	トラックへの積込作業						
事故概要	作業員が重機から降車する際、不陸部に着地したため右足首を捻り負傷したものの。						
事故原因	重機を停車した箇所が建屋解体によって不陸が生じた場所であったことから、足を着地させたときに右足首を捻って受傷したものの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り平坦な場所に停車し、降車前に着地面の状態を確認することの徹底。 ・重機の扉内側に「降車時足元確認」の注意喚起表示。 						

事故状況図



イメージ写真

改善状況図

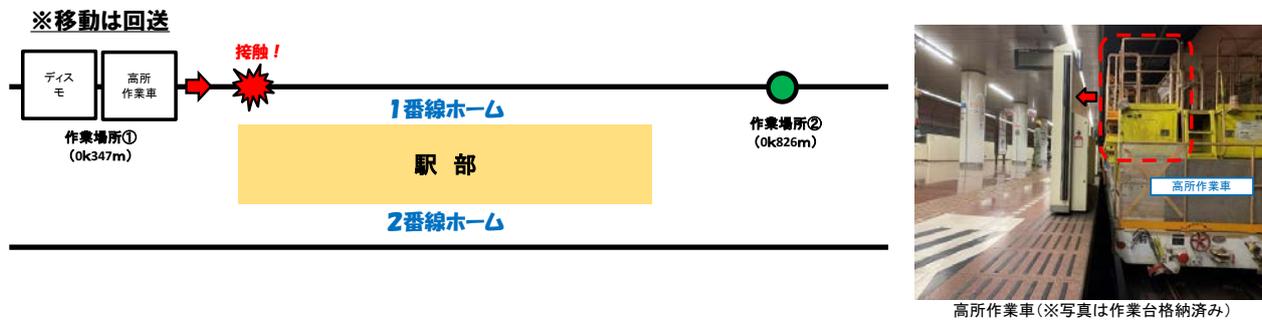


注意喚起表示

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年9月26日(土曜日) 2時00分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	建設機械等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	機械破損	事故レベル	I		休業見込日数	—	
工事概要	土木建造物の点検業務						
事故概要	モーターカーにて駅を通過する際に、連結している高所作業車の作業台が張り出したままになっていることに気付かず走行したため、作業台がホームドアの支障物センサーボックスに接触したものの。						
事故原因	高所作業車を移動させる際は、作業台の格納状態を確認してから移動させるべきであるが、作業台の格納操作(未格納状態を示す表示灯の確認を含む。)を怠っていたため、作業台が駅のホームドアと接触したものの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業開始前に作業台操作者及び見張員を指定し、指定された操作者以外は作業台の操作を行わないことを徹底する。 事故防止チェックリストを整理し、格納完了を操作者及び見張員で必ず確認する。 作業台部にラインによる目印を入れ、目視での確認を確実にできるようにする。 						

事故状況図



改善状況図



作業開始前に操作者・見張員を指定している状況



作業台部にラインによる目印を設置した状況